

情報活用能力育成のための指導事例【高等学校 第1学年 情報（社会と情報）】

単元・題材名	インターネットの仕組み（WWWとURL）	指導時間（本時）	1 / 10
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> Webページを作成する中で著作権があること、また、インターネットをする上で様々な危険が潜んでいることを理解することができる。 	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <p>[理解] ■情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットの構成要素と、およその仕組みが分かる。（モB31-4-010） <p>[態度] ■社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化の光と影の部分について検討し、問題解決の方法を考える。（モC21c5） <p>■情報モラルの必要性や情報に対する責任</p> <ul style="list-style-type: none"> 著作権に関する法律の内容を理解し、適切に行動する。（モC31c5） 	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ ■インターネット ■ソフトウェア（Webページ作成ソフト）</p>		
本時の概要	<p>Webページ作成ソフトを活用する中で、ウェブアクセシビリティや著作権について理解させる。また、情報化の「光」と「影」についても正しく理解させ、情報社会に参画する態度を育成する。</p>		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	1 インターネットについて普段感じていることを発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> 五人程度に指名する。 ※ よい点（情報化の「光」の部分）だけに偏らないように考えさせる。
	展開	2 Webページの構成について、概要を理解する。 3 HTML言語を活用し、Webページを作成する。 4 Webページを表示する。	<ul style="list-style-type: none"> Webページの概要について説明する。（ハイパーテキスト、URL、HTMLなど） ◎ Webページ作成ソフトを利用し、簡単なWebページを作成させる。 ※ 代表的なタグについて説明する。 ※ 写真の挿入や文章の引用の際には、著作権に配慮することが必要であることを理解させる。 ◎ 幾つかのブラウザで表示させ、タグの変更により表示が変わることを実感させる。 ※ 誰にでも見やすく配慮されているか考えさせる。
	終末	5 本時のまとめをする。 6 次回の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも見やすいWebページを作成するための留意点（ウェブアクセシビリティなど）について考えさせることを予告する。
使用した教材・資料（コンテンツ）	○名称・出典・内容など		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> WebページをHTML言語により作成させることで、タグを用いた文書構造やハイパーテキスト、画像等の表示、さらに、URLの構成やWebページ閲覧の仕組みなどについても理解させる。 Webページを公開するに当たっては、著作権・肖像権の尊重やウェブアクセシビリティに関することなど、多くのことに配慮する必要があることを理解させる。 		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットやメール・ブログ等を利用し情報を受信・発信する機会が増えているので、使用上のルールと危険性について継続して指導している。 ワープロソフトや表計算ソフトに関しては、社会に出てからも困らないように、適宜指導している。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の実践力」→ [実践]，「情報の科学的な理解」→ [理解]，「情報社会に参画する態度」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号